

○ 発行額の減額(5,100億円 → 4,900億円)

- 第22回大阪府財務マネジメント委員会で示した大阪府債発行計画(案)において、臨時財政対策債(※1)に係る大阪府への公的資金の配分額は未確定であったため、配分額を α とし、確定後フレックス枠で調整することとした。
- その後、公的資金が約103億円配分されたことや、事業費の確定により、資金需要が減少したこと等から、結果としてフレックス枠での発行額は800億円となった。
- 今後フレックス枠を活用して発行する予定の150億円(※2)のうち、外貨建て国内債(100億円)は現在、市場条件が整うタイミングを見計らっている。なお、発行ができない場合には、円建て債への振替発行等により対応。

(※1) 地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法5条の特例として発行される地方債

< 第22回大阪府財務マネジメント委員会(令和5年2月3日)時点 >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計
市場公募債	10年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	4,300± α
	5年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	
銀行等引受債	証券 5年	100						100	200						200	
	証書	200						200	400						400	
フレックス枠		1,000± α														
共同発行債	10年	800														
合計																5,100± α



< 最終見込み >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計
市場公募債	10年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	3,300
	5年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	
銀行等引受債	証券 5年			100				100			100		100		200	
	証書			200				200			200		200		400	
フレックス枠							300	300	300		50		150(※2)	500	800	
共同発行債	10年	100	100			100	100	400	100	110		100	90	400	800	
合計																4,900

(※2) 150億円のうち100億円は外貨建て国内債での発行を予定